

## 【歳出】

事業名	内容及び金額(千円)			
1 ICTを活用した児童生徒による学習状況フィードバックシステム構築事業	事業内容	CBTによる学習状況の即時フィードバックにより、自らの学習を調整し、自律的に学ぶ児童生徒を育成するため、県独自のCBTシステムを構築し、全5年生がCBTによる学びを体験する等、学習状況フィードバックシステムの構築及び効果検証を実施しています。		
	見直し内容・理由	当初の事業設計のとおり、実証研究し、自走の段階になったためICTを活用した本事業を完了します。 なお、今後も市町村等へのフォローアップは行ってまいります。		
	R 6 予算額	11,039	R7見直し見込額	11,039
学びの改革支援課				
2 県立高校「未来の学校」構築事業	事業内容	実践校6校について、令和元年度に研究校が策定した研究開発計画を基に、令和2年度以降、アドバイザー等の助言を得ながら概ね5年間取り組んでいる研究開発に支援しています。 また、研究開発の成果について、検証・評価を行いながら成果の普及に努めています。		
	見直し内容・理由	令和7年度から新たに3校程度を公募により指定し、県立高校の新たな研究を支援します。加えて、過去の研究成果を含めた普及企画を実施する形に再構築を行いました。		
	R 6 予算額	6,084	R7見直し見込額	1,391
学びの改革支援課				
3 1人1台端末等を活用した「心の健康観察」の導入推進事業	事業内容	文部科学省による「誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策(COCOLOプラン)」を踏まえた不登校・いじめ対策の前倒しでの緊急実施(令和5年度補正予算)に合わせ、いじめ・不登校・自殺リスク等の早期把握に向けて、1人1台端末等を活用した「心の健康観察」の導入推進を、市町村への再委託により実施。		
	見直し内容・理由	国事業が終了し、所期の目的が達成されたことから、事業を廃止します。		
	R 6 予算額	1,650	R7見直し見込額	1,650
心の支援課				